

研究協力をお願いについて

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院研究倫理委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

急性B型大動脈解離の治療成績

2. 研究の目的について

急性B型大動脈解離は急性A型大動脈解離と異なり、急性期の保存的治療による死亡率が10%程度と低いため、破裂や臓器虚血障害などの重大な合併症（続発症）のない症例に対しては、心拍数・血圧のコントロール、安静を中心とした内科治療が推奨されてきました。

近年、重篤な合併症がなく比較的安定した病態のうち、将来、偽腔の拡大が予想される症例において、大動脈解離発症から1年以内にステントグラフトを用いて胸部大動脈内の内膜裂孔（エントリー）を閉鎖する治療法が行われ、良好な治療成績も報告されています。しかしながら、この治療法の至適時期などエビデンスに乏しいのが現状です。

今回、当院で急性B型大動脈解離と診断した症例について、治療法（保存的加療、ステントグラフト内挿術）、治療経過、予後などを検討し、学術集会・学術論文で報告したいと思います。

3. 研究の方法について

2014年1月1日から2025年4月30日までに、当科で加療した急性B型大動脈解離の症例を対象とします。その際の画像所見、治療成績を電子カルテのデータから情報収集します

4. 研究期間

研究承認日から2029年12月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

General Thoracic and Cardiovascular Surgeryに投稿予定です。また、中間報告として、第57回日本心臓血管外科学会学術総会（2027年3月4日から2027年3月6日まで）に発表予定です。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

福井県立病院心臓血管外科 医長 鷹合真太郎
科長 西田聡

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究における使用機材や抗生剤などの使用薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2026年12月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：福井県立病院心臓血管外科

研究責任者：鷹合真太郎（福井県立病院 心臓血管外科 医長）

問合せ窓口：福井県立病院 経営管理課 研究倫理委員会事務局

住所：福井県福井市四ツ井2-8-1

電話：0776-54-5151（内2043・2047）